

## 平成30年度活動報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

### ① はじめに

スサノオの風は、平成15年6月に設立されて以来、16年が経過しました。

法人の設立使命である佐田地域の文化・スポーツの融合により地域活性化を図っていくための基軸となるスサノオホール、佐田スポーツセンター等の指定管理業務に傾注する一方、法人自主財源確保のための障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」の運営、持続可能な地域づくりのための「小さな拠点づくり中間支援事業」と多種の事業展開をしてきました。

出雲市の行財政改革により、ホール、体育館は存続への黄色信号が灯っていることは事実であり、施設利用者を増加させることが施設存続の必須条件と考えていました。

しかし、昨夏の猛暑のため体育館利用は大幅に落ち込みました。この他、スサノオホールの多機能化を図るために「佐田の小さなマーケットc o t a b a」の開催など、新たな道を模索した1年でもありました。

29年度から開始した「小さな拠点づくり中間支援事業」は、ようやく軌道に乗りかけてきましたが、地域住民の主体的活動には今1歩のところがあり、今年度で受託事業を中止することにしましたが、独自の事業は展開していく考えです。

また、年度末に法人運営の中心的役割を担っていた社員2名が退職したのは、残念なことであり、改めて持続可能な組織づくりの必要性を痛感したところです。

### ② 基幹会議

#### 1) 平成30年度総会

- 開催日 平成30年6月27日（木）午後7時から
- 開催場所 スサノオホール 2階会議室
- 出席者 68名（うち委任状提出者 47名）会員総数 86名
- 提出議案
  - ・平成29年度事業報告、平成29年度収支決算の承認について
  - ・平成30年度事業計画（案）、平成30年度活動予算（案）について
  - ・定款変更について ・役員の選任について
  - ・平成30年度役員報酬額について

#### 2) 理事会

##### 【第1回理事会】

- 開催日 平成30年6月27日（木）午後6時20分から
- 開催場所 スサノオホール 会議室
- 出席者 9名 理事総数 9名

- 提出議案 ・平成29年度活動報告及び決算の承認について
- ・定款の変更について
- ・平成30年度総会提出議案について

【第2回理事会】

- 開催日 平成30年6月27日（木）午後8時から
- 開催場所 スサノオホール 2階会議室
- 出席者 10名 理事総数 11名
- 提出議案 ・理事長の選任について
- ・副理事長の選任について
- ・役員の報酬について
- ・夏季賞与の支給について

【第3回理事会】

- 開催日 平成30年10月31日（水）午後6時30分から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 8名 理事総数 11名 社員 3名
- 提出議案 ・旅行業免許の取得について
- ・冬季賞与の支給について

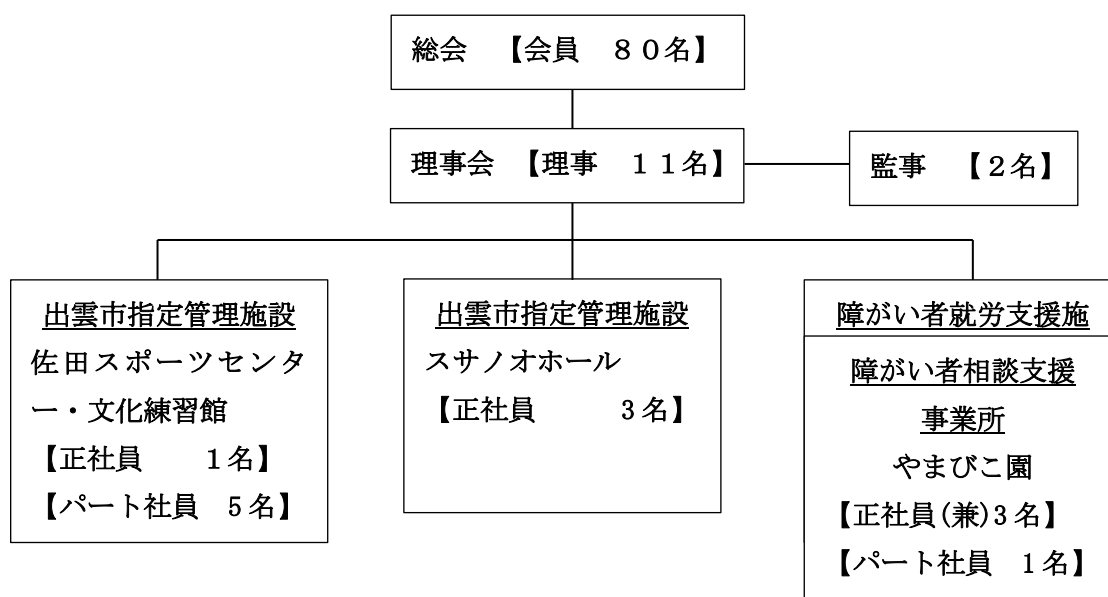
【第4回理事会】

- 開催日 平成31年2月19日（火）午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 9名 理事総数 11名 社員 3名
- 提出議案 ・平成31年度社員体制について
- ・「小さな拠点づくり中間支援業務」について
- ・第3種旅行業の業務開始時期について

【第5回理事会】

- 開催日 平成31年3月26日（火）午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 9名 理事総数 11名 社員 2名
- 提出議案 ・平成31年度社員採用について
- ・平成31年度事業計画素案について
- ・平成31年度概略予算について
- ・平成31年度理事長報酬の限度額について
- ・スサノオホール舞台技術年間委託料について

## 組織体制（平成31年3月31日現在）



### ★平成30年度中の社員の推移

・平成30年4月1日現在社員数	8名
・平成30年度中退職社員数	3名
・平成30年度中採用社員数	0名
・平成30年度末社員数	5名

### ③ 各部門の事業概要

#### 【スサノオホール】

スサノオホール利用者は、3年ぶりに5,000人台となりましたが、利用回数、使用料の減少は継続しており、今後の課題と言えます。集客数が多いのは、佐田町文化協会主催事業の「スーパー神楽」、ごっこいまつりの「子ども神楽」です。法人自主事業として開催した「宮本美香クリスマスライブ」は、協力者の存在もあり約200人に来場いただき、今後の自主事業のあり方を示唆するものでした。また、毎月第2日曜日を定例日として開催している「さだのちいさなマーケット cotaba」も徐々に浸透していき、出店・来場者も増加傾向となっています。

施設面では、空調機器の故障への不安、舞台設備の劣化への不安など多くの不安は解消されていません。こうした中、雨漏りが発生し、半年後、修繕に着手され完了しました。

スサノオホールの自主事業として「スサノオの里 こどもフェスティバル2018」「宮本美香クリスマスライブ」「劇団Yプロジェクト トラップー家物語公演」などを開催しました。しかし、地元佐田町からの来場者は、今年度もわずかであり、スサノオホールの存在意義をより薄くする結果となりました。

年度	利用人数（人）	利用回数（回）	利用料金（円）
平成30年度	5,095	126	1,152,832
平成29年度	4,733	182	1,417,638
平成28年度	3,850	75	875,183
対前年比	362	△56	△264,806

#### 【佐田スポーツセンター・文化練習館】

佐田スポーツセンターの利用は、減少傾向が引き続いています。この中で、体育館では今年も年間利用者1万人を掲げ、利用促進に力を入れてきました。結果、猛暑の影響を受け夏場に利用が大きく落ち込み7,944人と29年度より1,787人減少しました。

利用状況では、平日の昼間、土曜日の利用が相変わらず少なく、定期的な教室の開催など何らかの方策を講ずる必要に迫られています。

施設面では、耐震調査が年度末に実施され、何らかの補強工事の必要性が指摘されています。今後の対応については未定ですが、存続問題に転化しないように留意していく必要があります。運動場が利用者の減少により、雑草が広がり管理面での負担が増加している状況です。

文化練習館は、須佐太鼓、むらくも座を中心に定期的に利用されました。また、営利団体の会議利用もありましたが、昨年より減少しました。

なお、自主事業として、スローエアロビック教室などを開催しました。

- 1) スローエアロビック教室 14回開催 87名参加
- 2) スサノオの風杯バレーボール大会 10月14日 150名参加
- 3) フットサル3&3交流大会 12月18日 50名参加

#### ★体育館・グラウンド

年度	利用人数（人）	利用回数（回）	利用料金（円）
平成30年度	10,030	725	1,432,280
内 体育館	7,944	619	1,084,830
平成29年度	12,169	794	1,592,390
内 体育館	(9,731)	(678)	(1,212,290)
平成28年度	14,951	749	1,876,098
対前年比	△2,139	69	△160,110

#### ★文化練習館

年度	利用人数（人）	利用回数（回）	利用料金（円）
平成30年度	3,114	140	118,350
平成29年度	3,567	179	160,840
平成28年度	3,883	162	216,750
対前年比	△453	△39	△42,490

#### 【介護予防・健康づくり活動】

法人の自主事業として「ひなたぼっこサロン」を月1回、9月から2月まで窪田コミセンで開催しました。

	開催回数	参加延べ人数
ひなたぼっこサロン	5	46

#### 【障がい者福祉事業】

障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、利用者の変動があったものの、軽作業量の安定化もあり順調な運営が続きましたが、工賃は、伸びが鈍化し1万円と課題を残しました。また、(農法)橋波アグリサンシャインとの「農福連携」を着実に歩むことができました。

今後は、利用者の高齢化もあり、新たな利用者の増加が必要となっています。

また、今年度から出雲市から委託を受け「朝日たたら」の管理を実施しました。

#### 【小さな拠点づくり中間支援業務】

島根県の委託事業として2年目を迎えましたが、佐田地域全体での広がりには難しい面もありましたが、30年8月から佐田自治協会に「小さな拠点づくり部会」が組織化され、少しずつ広がりを感じられるようになりました。部会の事務局支援と各振興協議会での「まちづくりアンケート」を中心とした活動支援を実施してきました。また、島根大学作野広和教授のアドバイスを頂きながら、西山中地区の実態調査も実施しました。

住民主体の活動には、至っていませんが、継続的な支援が必要と考えています。なお、島根県の委託事業は、今年度で終了することにしました。

#### 【その他の事業】

佐田町文化協会事務局、出雲市体育協会佐田支部の事務局を担い、各種事業の支援を実施してきました。

法人のPR誌「風のたより」を月刊から季刊に変更し、Uターン者を紹介するなどA4版4ページカラー印刷へと体裁を変更しました。

出雲市から委託を受けているレンタサイクル事業は、126台(29年度 167台)の貸出を行いました。年々貸出件数は減少傾向です。

また、若手社員によるSNSの活用にも力を入れました。

#### 【財政状況】

30年度の経常収益は、54,381,764円(対前年比5,025,774円減)となりましたが、この要因としては29年度は障がい者福祉サービスの報酬を14か月分を計上したためです。経常費用は、54,127,554円(対前年比817,884円減)となりました。この結果、税引前当期経常増減額が254,210円となり法人税を242,800円支払いまし

た。年々、法人運営会計が窮屈になってきますが、経費の見直しや新たな財源確保に向けて取り組みを強化していきたいと思えます。

(30年度助成金・補助金)

・(公財) とうぎん島根文化振興財団

80,000円

## 平成30年度 主な活動



↑ 「小さな拠点づくり部会」

← 宮本美香クリスマスライブ



↑ 毎月第2日曜日開催 cotaba



↑ スサノオの風杯バレーボール大会